

**2022年度**

**明治大学  
学習支援報告書**

**学習支援推進委員会**

# CONTENTS

明治大学は2005年7月に学習支援推進委員会を設置しました。この委員会は、正副教務部長、各学部の教務主任、大学院及び専門職大学院の教務主任、そして教務事務室・和泉教務事務室・中野教務事務室・スポーツ振興事務室の各事務長によって構成され、学習支援の内容について協議しています。

本書は、2022年度に本学が取り組んだ学習支援活動全般に関する実績報告書です。各学部の取り組みや、学習支援室の活動等について情報をまとめました。

## 明治大学の学習支援に対する取り組み

<a href="#">法学部</a>	3
<a href="#">商学部</a>	5
<a href="#">政治経済学部</a>	8
<a href="#">文学部</a>	10
<a href="#">理工学部</a>	12
<a href="#">農学部</a>	15
<a href="#">経営学部</a>	17
<a href="#">情報コミュニケーション学部</a>	19
<a href="#">国際日本学部</a>	21
<a href="#">総合数理学部</a>	23
<a href="#">和泉学習支援コーナー</a>	25
<a href="#">中野学習支援コーナー</a>	27
<a href="#">スポーツ特別入試入学者対象語学科目</a>	28

## 資料編

<a href="#">明治大学学習支援推進委員会設置要綱</a>	31
<a href="#">学習支援推進委員会名簿</a>	34
<a href="#">2022年度各キャンパス別学習支援室時間割</a>	35
<a href="#">2022年度各キャンパス別学習支援室利用状況</a>	44



明治大学  
MEIJI UNIVERSITY

# 明治大学の 学習支援に対する 取り組み



# 法 学 部

## 【学習支援内容】

法学部が2022年度に実施した学習支援は以下のとおりである。

### 1. 法学部学習サポートの実施

例年、駿河台・和泉の各キャンパスにおいて「法学部学習サポート」を実施している。

TA および助手が数名常駐し、法学部生の日々の学習をサポートする、法学部独自の学習支援制度である。さまざまな理由から学習に困難を感じている学生に対し、各年次において必要な単位数を修得できるよう、必要な支援・指導を行い、4年間で卒業することを基本的な目的としている。

今年度からは対面とオンライン両方の体制で学習サポートを行った。ただし、オンライン相談希望者は利用者全体の6%しか存在せず、そのためにオンライン相談員を配置すると、殆どが対面相談であった定期試験直前の繁忙期に対応できなかったため、秋学期の定期試験時は対面相談のみへとシフトした。なお、当該期間にもオンラインでのサポートを希望する学生が2名居たため、それらの学生には別途オンライン対応を行った。

利用者数を新型コロナウイルス感染症拡大前と同等にするため、昨年度に引き続き広報活動を活性化させ、学部生が親しみやすいようポスターも作成し直した。その結果、延べ利用者数は昨年度の約1.5倍に増加し、リピート率は約43%、最多で18回リピート利用する学生もいた。なお、昨年度の延べ利用者数は一昨年度の約3.6倍に増加していたため、順調に新型コロナウイルス感染症拡大前の利用者数に戻ってきている（新型コロナウイルス感染症拡大前の2019年度の延べ利用者数は434名、今年度の延べ利用者数は後述参照）。

### 2. 利用者数

昨年度の利用者数は延べ247名であった（春学期106名、秋学期141名）が、今年度は延べ372名に増加した（春学期269名、秋学期103名）。昨年度と比較し、秋学期の利用者数が減少したことについては、TAの所感からは以下3点が理由として考えられる。（利用者アンケートから、満足度が下がったことは考えられない）

- ・春学期の利用により、学部生に勉強方法が身に付いたため。
- ・3年生の就職活動が9月から開始されたことで学習サポートを利用する時間が無くなったため。
- ・例年秋学期の利用者数は減少するが、今年度は特に学年暦の関係で冬季休業明けすぐに期間前試験が開始されたため。

## 【今後の課題】

順調に新型コロナウイルス感染症拡大前の利用者数に戻ってきているが、まだ戻ってはいないため、引き続き学部生目線にたった周知方法を実施する。また、例年同様、体育会学生および外国人留学生の利用者数が少なかったため、彼らにも情報が届くよう周知方法を検討する必要がある。特に法律の専門用語は難解なものが多いため、初年次からの継続的な支援体制を整えることで、安心して学習に取り組める環境づくりに努めていきたい。

また、例年、アンケートの回答数が少なく、本活動を客観的に見ることが難しいため、2023年度は日頃からアンケート回答を依頼できる仕組みを作り、回答数を増加させたい。

# 商 学 部

## 【学習支援内容】

商学部が2022年度に実施した学習支援は以下のとおりである。

### 1. 概況

商学部では、執行部と関係教員との連携のもと、多角的な学習支援を行っている。商学部のような大規模学部では、ゼミナール選択（2年次）、コース選択（3年次）などのカリキュラムの節目において、学生がカリキュラムを十分に理解し、ミスマッチのない学習計画を立てられるように支援していくことが肝要である。その意味からも、総合講座「商学入門」の開講や、「商学部アワー」などにおける各種ガイダンスの開催に、学習支援の一環として重要な役割をあたえている。また、特別入試による入学者、および様々な障がいを抱えた学生などの学生生活への不適應への対応なども個別に対応している。

### 2. 具体的取り組み

2022年度の主な取り組みは以下の通りである。

#### ● 「基礎演習」「文章表現」の開講

いずれも1年次の必修科目として設置されている半期科目である。20名以下の少人数クラスを編成し、高校から大学における学びへのスムーズな移行ができるよう配慮している。2022年度は春学期、秋学期ともに原則対面で実施した。

「文章表現」は大学生としてふさわしい文章力の修得と日本語運用能力の向上を目標としている。論文・レポート・答案など、文章を書くための基礎的な力を養うための講義と演習を行っている。2022年度の使用テキストは『実践 文章表現』（明治書院刊）である。本テキストはSNS時代の文章マナーなどを積極的に取り入れつつ、レポートの作成の際に役立つように構成されている。時代に適應した実践的な文章力の涵養に努めた。

「基礎演習」では文献・資料収集の技術、文献・資料を利用した研究成果の発表方法など、大学で自律的に学ぶ方法を体得できるよう指導している。また、大学教育への導入として、図書館利用法を周知徹底するようにしている。なお、1年に1回基礎演習担当者会議を開催し、授業方針、シラバス、評価方法等について授業担当教員間で継続的に検討を行っており、多数のクラスで開講される講義内容を統一するとともに、質の保証を図っている。

このほか、ゴールデンウィーク明けに無断欠席の続く学生については、「基礎演習」の担当教員から商学部事務室に学生情報の連絡を入れることになっており、これにより新入生の大学生活の不適應を早めに把握し、修学指導に役立てる体制を整えている。

### ● 推薦図書リスト『知の森へ』

2008年度より、商学部教員がそれぞれの専門分野や関心領域から推薦する一冊の図書を学生向けに冊子やWebサイトで紹介している。これは学生にとって学習の指針になるだけでなく、商学部教員の人物や研究領域を知るきっかけにもなっている。和泉キャンパス三省堂書店で特設コーナーを設けた。

### ● 商学部アワー

2009年度より、火曜日午後を「商学部アワー」と定め、多様なプログラムを提供している。2022年度は、コロナ禍により、対面での実施ができなかったため、全ての行事をオンライン配信で実施した。春学期は、秋学期に行われるゼミの入室試験対策オンライン講習会（全4回）を動画で配信した。

秋学期は、ゼミナビ（10月4日、10月11日）、演習室総合ガイダンス（9月26日）、総合学際演習2次募集ガイダンス（11月14日）、コース・進級・進学ガイダンス（11月15日）、商学専門演習2次募集ガイダンス（11月22日）などのオンライン配信を行った。

### ● 各種総合講座の開催

#### ○ 「商学入門」「商学研究入門」

商学部では3年次より専門コース（7コース）に分かれるが、それぞれのコースで学ぶ内容を1・2年生に分かりやすく伝える授業として、2009年度よりオムニバス形式による「総合講座（商学入門）」を開講している。コースおよび専門ゼミの選択に役立つ授業として、1年次での履修を推奨している。なお、2012年度から「総合講座（商学研究入門）」を開講し、1・2年次からビジネス研究における最先端分野に触れる機会を提供している。

#### ○ 「フューチャースキル講座」

商学部では、2011年度よりベネッセコーポレーション、京王電鉄、三井住友海上火災保険などの有力企業との協力により、企業における具体的事例を題材として、学生が社会で求められる能力の向上を目標として「就業力養成講座」を開講していた。2017年度より、新たに「フューチャースキル講座」を開講した。本講座は、1年の春学期に企業から与えられた課題に取り組み、グループワークやフィールドワークを通じて、社会的な課題に挑戦する力を養成する講座であり、初年度より多数の学生が受講する人気講座となっている。在学中に卒業後の社会生活を意識することで、商学部での学びに動機づけが与えられる効果が期待されている。

### ● 修学指導

1年次の秋学期に、春学期の成績にもとづき、成績不良の学生を面談に呼び出し、専任教員が分担して修学指導を行っている。これにより成績不良学生に反省の機会を与えるだけでなく、場合によっては成績不良の背景にある家庭環境や心身の不調など深刻な問題を早期に把握することが可能となっている。

### ● 障がい学生支援・心の病を抱えた学生への対応

障がい学生への支援については、従来大学内の関係部署と協力して進めてきた。心の病を抱える学生へは、執行部教員、学級主任、授業担当教員、事務室（商学部事務室、教務事務室）が学生相談室と連携して対応している。これらにはいずれもプライバシーに関わる問題が付随しており、事務窓口、講義室での個別の対応には限界がある。組織的な連携・対応のあり方を慎重に検討し、整備していく必要がある。

### ● 入学前教育プログラム

商学部では2022年度も、特別入試による入学者を対象に、動画視聴をふまえた小論文作成を課した。商学部入学後に求められる基本的な論理的思考力、文章力を確かめ、入学後の学習上の目標設定に役立ててもらうことを主眼としている。受講者の感想から、論理的な文章の組み立てに難しさを感じる学生も多いことが判明し、入学後の勉強開始を前に、能力向上の必要性を感じる機会を提供できていると推測している。

また、入学形態別に入学前の心構えについて動画配信し、より良い学生生活を送るための指導を行った。

## 【今後の課題】

学生の多様化にともない、学習支援も成績上位層・中間層・下位層をそれぞれターゲットにして、多様なかたちで展開していかなければならない。商学部については「フューチャースキル講座」などを通じて上位層にさらなる意欲をあたえ、「商学部アワー」「商学入門」「商学研究入門」などで中間層に学びのきっかけを提供し、「修学指導」で下位層に大学生活の見直しの機会をあたえている。今後は、これらのアプローチをさらに推し進め、支援のあり方に工夫をこらしていきたい。

また、レポート・論文における剽窃問題についての啓蒙活動については、「基礎演習」や「商学部アワー」等の複数のチャンネルを通じて、さらに徹底していかねばならない。

障がいや心の病を持った学生たちに対する支援のあり方は大きな課題であるが、学部で対応するだけでは不十分である。全学的な支援体制の確立に商学部としても協力していく所存である。

# 政治経済学部

## 【学習支援内容】

政治経済学部が2022年度に行った支援活動は以下のとおりである。

### 1. アカデミック・アドバイザー制度

本学部では毎年度、入学式後に約3日間を目安として、和泉キャンパスに学習相談コーナーを設置し、アカデミック・アドバイザーによる個別相談を行っている。これは主に新入生を対象に、学部長をはじめとした執行部の教員や若手の教員がアカデミック・アドバイザーとして、訪れた学生の進路や希望職種、学習意欲に基づき、在学中の学習や履修計画についてアドバイスを行うとともに、学習指導週間に実施された各種ガイダンスで生じた疑問や質問等に答えるものである。

2022年度は、3日間で合計20名のアドバイザーが176件の相談に対応した。

### 2. スポーツ特別入学者対象ガイダンス実施

本学部は本学のスポーツ特別入学者数の約4分の1となる70名の学生を受け入れており、その割合は学部の入学定員（1150名）の6%を占めるため、一般入学者との学力差是正とともに、勉学への意欲維持や目的意識を高めることが必要となる。

入学前教育として、ユビキタスカレッジ運営委員会による「eラーニングを活用した大学入門講座」の「英語」を利用している。また、入学前に複数の指定図書を読ませ、読書感想文を提出させている。入学前の勉強意欲を入学後も持続させる必要があると感じている。今後も文武両道をかかげ、学生生活を送ってほしい。

また毎年度、4月の授業開始前には、当学部スポーツ委員会委員によるスポーツ入学者ガイダンスを実施し、1・2年生には、効率的に語学を学修できるように設置されたスポーツ語学の履修にかかわる説明を行うとともに、どの科目を履修するかに関して個別指導している。3・4年生については、4月の履修登録期間開始前に成績不良者を対象とし、スポーツ委員会委員から学習計画に関する個別指導を行っている。

### 3. 修学指導の実施

学生で、修得単位数等で一定の基準を満たさなかった学生を対象に、文書注意、学生と教員（学級主任もしくは専門演習担当教員）との二者面談、父母も同席する三者面談を実施している。

これにより、成績不良者に反省機会を提供するとともに、学業意欲喪失者に進路を見つめ直す機会を提供している。

#### 4. 障がい学生支援

近年、心身の障がいのある学生が増えてきている。学生本人、執行部教員、事務室との面談を通じて、学生一人ひとりの障がいの状況やニーズを踏まえ、障がい学生支援室とも連携しつつ、修学上の支援を行った。

#### 5. 政治経済学部国際交流学生委員会「The Supporters」による支援

政治経済学部では、学部の国際交流事業をさらに充実させ、学生主体の国際交流活動を促進させることを目的として、留学生のサポートや学部が実施する各種国際交流イベントの企画運営等を行う国際交流学生委員会「The Supporters」を2021年度に立ち上げた。私費留学生及び長期交換留学生を対象とした滞在中のサポート、短期受入れプログラム参加留学生を対象とした交流会の企画・運営・合宿サポートなどを行った。

#### 6. 政治経済学部ブックガイド

政治経済学部の教員が新生に薦める各分野の入門書（政治学・経済学・社会学・国際文化・各種教養文化など）についてまとめ、冊子やホームページで紹介している。政治経済学部で「知の世界」に向かって踏み出す学生の一つの道標として編集されている。

### 【今後の課題】

入学形態だけではなく、心身に障がいを抱えた学生、外国籍の学生等、支援の対象となる学生は多様化している。全学的な支援体制の確立に協力するとともに、修学指導や国際交流学生委員会による支援等、学部独自の取り組みを通じて、きめ細やかな支援体制を構築したい。

# 文学部

## 【学習支援内容】

文学部が2022年度に実施した学習支援は以下のとおりである。

### 1. 入学前教育課題の実施

特別入学試験入学者（指定校推薦・社会人・自己推薦・付属校）を対象に、課題図書についての感想文提出を課題として与え、文章力や論理的思考力の確認を図った。また、英語の長文読解と英作文を主な内容とした英語課題を課した。

提出された英語課題については、委託業者によって添削される。解答・解説を添付して本人に返却するといった方法を実施したことにより、入学にあたってどの程度の英語力を備えているか、本人が現時点での英語の実力を確認できるだけでなく、この結果をもとに、各専攻内における新入生の英語の学力を事前に把握し、個々の学習指導に役立てることが可能となった。

### 2. 履修相談会の開催

4月8日から14日まで、文学部専任助手およびTAによる「履修相談会」を和泉キャンパスにおいて実施した。ここでは、履修方法や時間割の組み方、授業内容に関する疑問について個別相談を実施し、スムーズな学期開始となるようサポートした。

### 3. 学習支援業務

前項2で履修相談を担当した助手およびTAが、学期を通して学習支援業務や授業補助業務も行った。和泉学習支援室で学習支援業務を行った文学部助手・TAは春学期・秋学期各5名、1週間に総時間30時間勤務した。

上記とは別に各専攻別での学習支援を和泉・駿河台キャンパスの教室で助手およびTAがおこなった。春学期には、合計23名が1週間に総時間94時間勤務し、秋学期は合計20名が1週間に総時間90時間勤務した。専攻によっては、対面だけでなくオンラインでの相談受付も実施した。

業務内容は、レポート作成指導、文献検索方法、外国語の発音・文法指導、大学院進学相談などである。

### 4. 障がい学生支援

文学部には10名の障がい学生が在籍している。これらの学生一人ひとりの障がいに応じて、担当教員や障がい学生支援室とも連携しつつ、支援を行った。

## 5. 個別の対応が必要な学生への支援について

何らかの理由で成績不振に陥っている学生に対しては、教員による個別面談を行っており、状況把握や今後の学習指導につなげている。また、従来から行っているが、事務室の窓口等で履修・修学状況を把握した学生に対して個別に相談を受け、きめ細かく対応した。教員と職員の両方で対応することにより、当該学生が集中して勉学に取り組めない原因を早期に特定し、必要に応じて専攻や学科、学部レベルで適宜協議のうえ、改善策を実施した。

### 【今後の課題】

学生の学習意欲の把握や、学習意欲を高めるための対処や支援を学生とともに進められれば、個々の単位修得状況を向上させることができるのではないかと期待される。

学習支援室の効果的な運用のあり方や、学習意欲に関する意見交換の場の設定などについての検討を継続することによって、学生の単位修得の進捗が留まることがないように努めていきたい。

# 理 工 学 部

## 【学習支援内容】

理工学部が2022年度に実施した学習支援は以下のとおりである。

理工学部では、学習支援室の運営については本学部の執行部、各学科及び総合文化教室から選出された教員で組織する教学委員会が、入学前教育については本学部の執行部と入試委員会がそれぞれ責任主体となり、理工学部学生に対する学習支援活動に取り組んでいる。

### 1. 理工学部学習支援室

理工学部学習支援室では、理工学研究科各専攻に所属する大学院生のTAを主体として、学部学生に対してきめ細かい学習支援活動を実施している。TAの所属専攻・専門性に応じて決定した担当科目・時間割の作成、昼休みの時間帯に多くのTAを配置するなど、利用しやすい環境を考慮している。また、定期試験が行われる7月及び1月は利用者が増加するため、応援勤務体制による指導TAの増員を行い、学習支援室の混雑緩和及び相談者への指導の充実を図っている。

学習支援室の質問事項、利用状況等は専従の嘱託職員がとりまとめ、これをデータ化している。このデータは毎週教学委員へ報告され、教学委員が担当学科の支援活動状況を確認し、恒常的に改善を図っている。

※時間割及び利用者数については「資料編」を参照。

2022年度は概ね対面授業が再開されたが、本学活動制限指針レベルに準じてZoomやメールによるオンライン指導と対面指導の双方を継続して行ったところ、年間を通じてコロナ前とほぼ同水準又はそれ以上の利用があった。

### 2. 入学前教育の実施

理工学部では、特別入試で合格した入学者を対象に「数学」「英語」の入学前教育を実施している。

数学では、2022年度（2023年度入学者対象）は11月に学部ウェブサイト上に「入学前教育プログラム」として課題となる数学の問題を掲載し、対象学生にはその問題を解くように指示を与えた。課題の作題は付属明治高校の元数学教諭が担当し、出題の範囲は高校数学を広く網羅した基本的な内容からなるが、微分・積分の比重を重くしている。対象者は全ての特別入試入学予定者（スポーツ特別入試、AO入試、外国人留学生入試、付属高校及び指定校からの推薦入試）である。

課題の解答は学部ウェブサイトに掲載し、対象者各自で自己採点を行い、採点を済ませた答案を学部事務室まで郵送するように指示をした。

この入学前教育は入学後の学習指導にも役立てており、提出された解答の内容から学力が不十分と判断される学生には、入学後の学習に支障をきたす可能性がある



ため、理系基礎科目「基礎線形代数1」「基礎微分積分1」のベーシックコースの受講を推奨している。

2022年度の課題対象者は362名であり、全員が答案を提出した。提出された答案の内容から判断して、基礎線形代数では67名に、基礎微分積分学では113名にベーシックコースの受講を勧め、それぞれ31名、55名がベーシックコースを受講している。

英語では、提出を要する課題を与えることはしなかったが、入学手続書類の中に学習のための参考図書を提示した。さらに、入学後の授業で扱う英語のレベルの情報を提供することにより、入学前に学習に対して準備することを心がけてもらうようにした。

また、スポーツ特別入試入学者に対しては、これら入学前教育課題に加えて、eラーニングを活用した「大学入門講座」の受講を強く推奨している。

### 3. 大学教養基礎講座について

入試形態の多様化等により、新入生の高等学校における履修科目のばらつきや基礎学力の個人差が目立つようになってきたため、2022年度（2023年度入学対象）は、東進ハイスクールが提供する大学教養基礎講座を入学前教育として取り入れた。本講座では数学Ⅲの内容から理工学部において重要な内容を含む単元を設定している。

大学教養基礎講座の対象者は全ての特別入試入学予定者（スポーツ特別入試、AO入試、外国人留学生入試、付属高校及び指定校からの推薦入試）であり、受講は原則任意であるが、スポーツ特別入試入学予定者に対しては受講必須とした。

### 4. 障がい学生等の支援

理工学部には2022年度（秋学期時点）において心身の障がい・不調等により、18名の配慮を必要としている学生が在籍している。これらの学生一人ひとりの障がいの状況に応じて、担当教員や障がい学生支援室とも連携しつつ、支援を行った。

### 5. その他のガイダンス等

理工学部における学習支援活動の一環として、毎年4月上旬に新入生を対象とした履修相談会を実施し、各学科の教員が授業内容、履修登録、時間割作成、進級・卒業条件等に関する質問を受け付けている。

また、毎年春学期学習指導期間には、スポーツ特別入試及び外国人留学生入試入学者に対して、学科ごとにガイダンスを実施し修学指導等を行っているほか、春・秋学期の授業開始前には、前年度（又は前学期）の成績において単位修得状況不良者を対象としたガイダンスを全学年で実施している。

加えて、3年次編入留学生（マレーシア編入学者）に対して、大学院生によるチューター制度を導入し、学習支援等を行っている。

## 【今後の課題】

入学後、通常講義の理解が不十分な学生に対してベーシッククラスの設置や学習支援室での学習指導などで対応しているが、いずれも学習指導が必要な学生が必ずしも利用しているとは言い難い現状もあり、個々の学生をすくい上げることができる仕組みの構築についても、検討課題である。特に学習支援室の広報をガイダンスでも実施するほか、定期的に案内を行うことで利用拡大を進めたい。

2022年度（2023年度入学対象）から開始した大学教養基礎講座の活用については、効果を検証のうえ、受講対象の妥当性等について今後検討する必要がある。

また、近年増加傾向にある発達障がいのある学生・その傾向のある学生に対して、障がい学生支援室・学生相談室とも連携を強化し、授業担当教員への負担軽減についても対応を引き続き模索する必要がある。

# 農 学 部

## 【学習支援内容】

農学部が2022年度に実施した学習支援は以下のとおりである。但し、例年実施している学習支援の中で、新型コロナウイルス感染症拡大の影響に伴い中止、またはオンラインでの対応となっているものもある。

農学部では教務主任1名、委員5名、事務局2名から構成される「農学部学習支援委員会」（委員長は教務主任）のもと、農学部の学生に対して多様な学習支援活動に取り組んでいる。下記1から3は本学部で行っている主要な学習支援制度である。

### 1. 農学部学習支援室の運営

農学部学習支援室は、自習エリア・学習支援エリアに分かれ、様々な用途で使用できる。学習支援エリアでは、TAが学習相談や補習指導を行っている。

※運用スケジュール及び利用者数については「資料編」を参照。

### 2. フォローアップ講座の実施

入試形態の多様化等により、新入生の科目習熟度や高校での履修分野に個人差が目立つようになったことから、2004年度よりフォローアップ講座を実施している。この講座では高校基礎レベルを短期集中で学び、学部の講義に円滑に移行することを目的として実施している。

2022年度については、「理科」（化学・生物）を入学前の3月～4月中にそれぞれ計9コマ（化学）と計12コマ（生物）を実施した。「理科」については理系3学科の特別入学者を対象に受講を必須とし、その他学生は任意の参加とした。講師については、「化学」は明治大学附属中野高等学校に派遣を依頼し、「生物」については本学農学研究科生が担当した。

### 3. 入学前教育課題の実施

農学部では2002年度より、特別入試入学者と一般入試入学者との学力差是正や入学までの勉学意欲の維持、学科や学問、目的意識に対する理解を高めることなどを目的として、入学前教育を実施している。

2022年度は2022年12月～2023年3月にかけて以下の入学前教育を実施した。

学科	入学形態	課題①	課題②	課題③
農学科	スポーツ特別入試	英語課題	学習日誌・ノート提出	
	自己推薦特別入試			
農芸化学科	スポーツ特別入試	英語課題	レポート作成 (課題図書有)	
	自己推薦特別入試			
生命科学科	スポーツ特別入試	英語課題	ノート提出 (課題図書有)	
	自己推薦特別入試			
食料環境政策学科	スポーツ特別入試	英語課題	課題図書読書 レポート	課題発表事後レポート作成
	自己推薦特別入試			
	地域農業振興特別入試			

英語の練習問題については農学部英語教員が作成した問題を4回分、2回に分けて提出させた後、解答・解説を農学部HPで公開して学生が自己採点する流れとした。

その他の課題については各学科で決定した課題を課し、大学まで郵送またはメールにて提出させている。提出後は各学科で提出状況や内容を確認の上、必要に応じて指導を行った。

## 【今後の課題】

- ① 従来のフォローアップ講座について、自己推薦特別入試・スポーツ推薦特別入試で理系3学科に入学した新生を対象として案内してきたが、2022年度以降の新生に対しては全員にUCAROで事前に案内をしたところ、出席者が大幅に増加した。一方で、出席者が多くなると学力差にも開きが出るため、今後の実施方法（レベル分けをして実施する、等）については、引き続き検討が必要である。
- ② 2022年度の障がい学生支援は精神障がいの学生から多く支援申請があった。共通して「授業のオンライン対応」や「定期試験・レポート課題等への配慮依頼」であったが、どこまでが配慮可能な範囲か線引きが難しい。2023年度からは在宅受講特別配慮制度もなくなり、対面前提とした授業が始まるため、他学部の事例なども参考にしながら対応を検討していく必要がある。

# 経営学部

## 【学習支援内容】

経営学部の学習支援体制は、(1) 入学前教育、(2) 学期開始時、(3) 学期中、(4) 学期終了時と学生生活を一体的にとらえ、半期単位での計画・実行・確認のサイクルを重視した学習支援体制を整えている。

### 1. 入学前教育

指定校推薦入試、付属校推薦入試の合格者には、国語の課題として外部委託業者による添削指導を実施し、ほぼ全員が受講した。英語に関する課題は、入学後スムーズに授業に取り組めるよう、TOEIC®試験等、英語検定試験の受験を推奨している。

スポーツ特別入試の合格者には、全学で実施している「eラーニングを活用した大学入門講座」の受講（英語・国語）を課し、さらには、英語検定試験の受験も推奨している。

### 2. 学期開始時

#### (1) 各種ガイダンスの開催

入学時、新年度に各種ガイダンスを開催している。1年生にはカリキュラムや履修方法に関するガイダンスを実施している。3、4年生には卒業に向けての指針となる履修指導を行っている。また、学部カリキュラムの特徴である2つのトラック「GREAT」・「CAP」、実践型・実習型科目の「フィールドスタディ」・「フューチャースキル講座」、学部独自の短期海外留学・体験プログラム（「IBP」・「ISIBM」・「グローバル・サービ斯拉ーニング」）、長期の海外留学（学部間協定留学、認定留学、デュアルディグリー・プログラム）については個別にガイダンスを実施している。

#### (2) スポーツ特別入学者ガイダンスの開催

全学年のスポーツ特別入学者を対象に「スポーツ入学者ガイダンス」を開催し、1年生および成績不良者に対して履修指導を行っている。

また、成績不良者が所属している部に対しては、「体育会監督との成績相談会」を開催し、学部の教員が、部の責任者に対し、履修・成績、部活動の様子に関して情報を共有し、協力して対応している。

#### (3) 「Chatbot」による質問への回答

24時間365日回答可能なChatbotを導入することにより、授業・定期試験、履修成績、卒業・成績等の問い合わせに対し、タイムリーに回答している。

#### (4) 履修相談

年度始めの学習指導期間において、経営学部助手、ティーチング・アシスタントが時間割の組み方等、学生の希望する学習・進路に合った履修計画策定を指導している。

### 3. 学期中

経営学部には、2022年度11名のティーチング・アシスタントがおり、授業補助や学習支援室での指導に当たっている。学習支援室における指導では、主に学習進度の遅れた学生に対して、経営学部必修科目などの個別指導を行った。

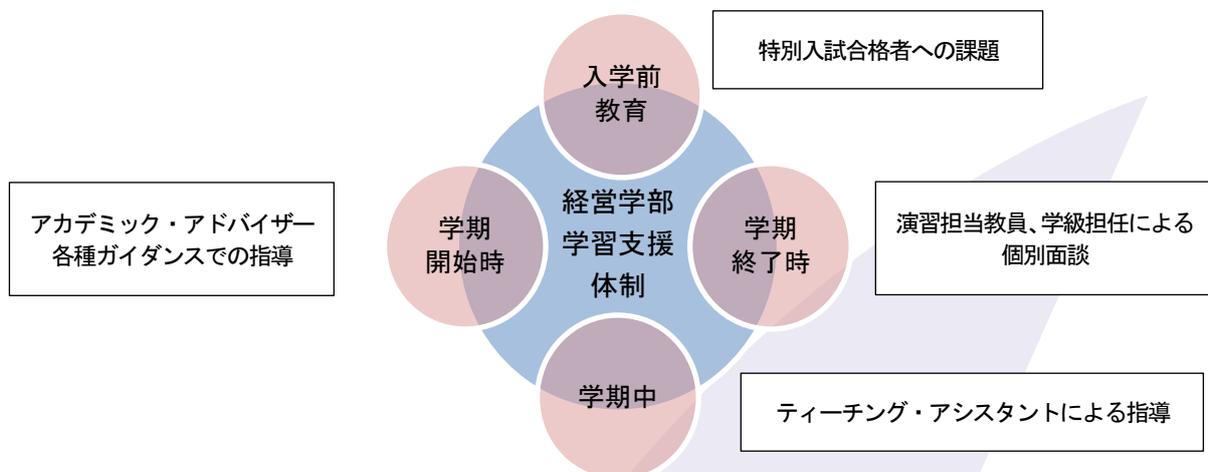
### 4. 学期終了時

学期ごとの成績基準を定め、その基準に達していない者を対象として、本人と保証人宛に成績通知表と注意喚起文を送付し、演習担当教員またはクラス担任による修学指導（個別面談）を行っている。修学指導は年2回実施し、その結果は学部執行部と教育課程委員会に報告され、検討を行っている。

## 【今後の課題】

学習支援室におけるティーチング・アシスタントによる支援体制について、支援が必要な学生が活用しやすい場とするべく、どのような相談ができるのかを具体的に例示する等、周知方法の工夫と徹底が必要である。

各制度の連携を重視し、学生が主体的に学習する環境の整備を目指す。



## 情報コミュニケーション学部

### 【学習支援内容】

情報コミュニケーション学部が2022年度に実施した学習支援は以下のとおりである。

#### 1. 入学前教育課題の実施

付属高等学校推薦入学者に対し、課題図書を選定してレジュメの作成を課題とした。課題図書については、入学者全員に配布し授業等でも使用している「情報コミュニケーション学への招待」を推薦し、合格者に対して事前に配付を行った。スポーツ特別入学試験入学者に対しては、付属高等学校推薦入学者同様、「情報コミュニケーション学への招待」を推薦書として配付し、それに関するレジュメ作成の課題を設けた。

#### 2. 入学前におけるカリキュラム等説明動画の配信

入学予定者に対して、入学前の3月にカリキュラム説明および履修登録方法等の説明動画を学部HPに掲出することにより、新入生が入学前の早い段階で履修登録に対する意識づけおよび準備ができるような体制とした。

#### 3. 在学生が作成した履修登録や授業に関するアドバイス冊子を配付

本学部所属の学生広報団体「Compal」が職員とともに作成した冊子である、履修登録や本学部でのおすすめ授業、実際の時間割組み立て例などを記載した「情コミへの扉」を4月に実施した新入生交流会にて配付。在学生目線での情報提供を行った。

#### 4. 問題分析ゼミナール個別ガイダンスの実施

本学部で重視しているゼミナール教育を円滑に進めるため、毎年10月に2年生を対象とし、ガイダンス等を実施している。2022年度はコロナ禍での実施だったため、問題分析ゼミナールの趣旨、選抜方法等の説明動画を公開している。ゼミナール選択のために、担当教員が演習内容を詳細に説明した教員個別ガイダンス動画を公開している。また、オープンゼミとして実際のゼミナール実施時間に見学できる機会を提供し、各ゼミナールへの理解を深める時間として参加を促している。

#### 5. 成績不良者に対するクラス担任等による面談・指導

「情報コミュニケーション学部修学指導内規」に基づき、成績基準に達していない者を対象として、本人及び保証人宛に成績通知表及び注意喚起文を送付し、クラス担任等による個別面談を各学期の履修登録期間前に実施している。

### 【今後の課題】

現行の支援体制については継続して行い、障がい学生の支援及び入試形態の多様化に伴う必要な支援体制等についても積極的に取り組んでいきたい。

主に新入生に対しては、本学部での多様性に富んだカリキュラムを十分に活かしてもらおうべく、初年次教育の充実を図りたい。

# 国際日本学部

## 【学習支援内容】

国際日本学部が2022年度に実施した学習支援は以下のとおりである。

本学部では学生に対し、多様な学習支援活動を行っている。主な支援制度は次の1から7である。

### 1. 海外指定校入試入学者に対する入学前教育

中国にある指定校高校から入学する予定の留学生に対し、入学後に必要とされる語学力の向上、入学までの学習意欲の維持、学科や学問に関する理解・目的意識を高める事を目的に、入学前教育を実施している。

合格発表後から入学までの約半年間、日本語と英語についてそれぞれ課題を課した。日本語については、課題文に従って意見文を800字程度で作成する課題や、講義録画を視聴し講義内容についてまとめる及び意見や感想を書く課題に加え、eラーニング「大学入門講座」（英語・国語）を課した。

### 2. スポーツ特別入試入学者に対する入学前教育と入学後のフォローアップ

スポーツ特別入試による入学者に対し、一般入試による入学者との間の学力差をなくすとともに、入学までの学習意欲を維持し、本学部や学問に関する理解や目的意識を高めるために、入学前教育を実施している12月に合格通知発送とほぼ同時に、入学への準備として『TOEIC L&R テスト はじめてでも600点が取れる!』（山根 和明、ピエール・バビノ著、成美堂出版）を送付し、勉強に取り組むよう指示したのち2月から3月にかけて学習成果確認のためのテストを実施した。さらに、岩波新書の任意の本について、国際日本学部標準フォーマットに沿った形でレポートを1000字程度で書くという課題を課した。これらに加え、明治大学eラーニング「大学入門講座」（英語・国語）を学習する課題を課している。

### 3. 初年次教育ガイダンス

新入生を対象としたクラス別ガイダンスにおいて、共通の教材を使用した初年次教育を実施している。内容は、大学の授業の種類、講義形式の授業の受け方、効果的な学習方法、シラバスの活用方法、課題解決のための情報収集の仕方、レポートの書き方など、大学生として知っておくべき内容を網羅している。特に、剽窃については、「レポートの書き方」を説明した後に、剽窃に関する理解を確かめる小テストを実施、防止教育に力を注いでいる。

#### 4. オフィスアワーの設置

専任・特任教員が週1コマのオフィスアワーを設けており、定期的に学生からの質問や相談を受けられる体制をとっている。また、英語教育を担当しているネイティブスピーカーの特任教員による「English Conversation Hours」が運営されており、英語のスピーキング・リスニングの力の向上を目指せる仕組みを設けている。近年では感染症の影響や手続きの都合により入国が遅れる等の理由によりオンラインでの授業参加となった学生に対して授業を補完する機会としても役立てられている。

#### 5. 国際日本学部学生交流委員会による留学生向けの支援

留学生の新入生で希望する者を対象に、学部公認の国際日本学部国際交流学生委員会の日本人学生がサポーターとなる体制をとっている（各学期の初めに決定）。留学生は、授業内容に関することや、履修・時間割の組み方などを個別に相談・確認できる他、日本での生活に係るサポートを受けることができる。2022年度はサポーターのマッチングや交流イベントなどをオンラインで開催した。

#### 6. 成績不良者に対する学期開始時の当該クラス担任等による面談・指導

国際日本学部修学指導内規に基づき、学業不振による休学・退学を未然に回避できるように、成績不良者に対し、学期の開始時、当該クラス担任等による面談・指導を行っている。

#### 7. 障がい学生の支援

本学部では、障がいを持った学生に対して個々のニーズに対応した支援を実施している。

「アスペルガー症候群（自閉スペクトラム症＝ASD）」及び「ADHD（不注意優勢状態）」の診断を受けた学生に対しては、支援申請を受け、希望する支援内容をヒアリングの上、授業担当教員に対して配慮要請をおこなっている。

### 【今後の課題】

以上の修学支援は今後も継続し、さらなる充実を図る。また上記以外の対応が必要になる事態が発生した場合には、ケースが発生し次第、他学部での例を参考にし、対処していきたい。特に、近年増加傾向にあるメンタルヘルス不調者への対応については、医師等の所見を基に如何に合理的配慮の内容を決定していくかも課題である。

# 総合数理学部

## 【学習支援内容】

総合数理学部では、学習支援および修学指導について、以下の学部内委員会で検討を行い、総合数理学部学生に対する学習支援活動に取り組んでいる。

- 学習支援：教学委員会
- 修学指導：学生支援委員会
- 入学前教育：入試委員会

### 1. 学習支援

学部教育の基盤となる「数学関係科目」、「情報関係科目」および「理科関係科目（物理）」について、学習支援を実施した。学習支援は先端数理科学研究科に在籍する大学院生TAが主に担当しているが、一部科目については、新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、2020年度・2021年度にオンラインによる授業が実施されたことを考慮して、支援強化のために、助手も担当した。また、2022年度は、新型コロナウイルス感染症流行前と同様に、1階ラーニング・ラウンジ内の学習支援コーナーにおいて、対面により支援を行った。

2022年度の学習支援利用者は1年間でのべ35名であった。2020・2021年度はZoomを利用したオンライン対応をしていたが、2022年度はすべて対面で実施し、この実施方法の変更が十分に周知されていなかったことや、授業が対面実施となり、利用者側で時間の調整が必要になったこと等が理由で、利用者が少なかったものと考えられる。秋学期開始時に改めて学習支援について周知をしたところ、春学期に比べて利用者が増加した。

### 2. 修学指導

年に2回（9月と3月）、学生支援委員会で審議・承認した修学指導基準に該当する学生について、学科教員が個人面談による指導を行っている。個人面談による指導は、学業不振による休学・退学を未然に防ぎ、また、学生自らが行動等を振り返ることにより学業不振の原因を探る機会となり、次学期への学生の学習意欲を高める効果を上げている。2022年度は、前年度から引き続き、対面による面談とZoomを利用したオンラインによる面談を柔軟に併用して実施した。

### 3. 入学前教育課題の実施

自己推薦特別入試、指定校推薦入試、スポーツ特別入試及び外国人留学生入試入学者に対し、学習意欲の維持及び目的意識の明確化を図ることを狙いとして、数学および英語の課題を教育専門業者に委託し、2回の通信添削を実施した。受講した学生から、「大学で必要になる部分を復習できて良かった」「一般受験生と同じレベルまで学力を維持するために重要なプログラムだった」「添削された答案が返ってくることがとても有難かった」等好意的な感想が寄せられた。また、課題提出率が1

00%であることから、入学に向けた学習意欲の維持向上に一定の成果を上げていると思われる。

なお、受講した学生には、入学前教育課題内容の復習・定着を目的とし、入学後のガイダンス期間に数学のプレースメントテストを実施した。

## 【今後の課題】

学習支援について、実施場所・時間などを、利用者に向けてわかりやく周知すると共に、利用者や支援を実施したTAの意見や要望等を受け、より学生が支援を受け易い環境や体制について引き続き検討し、利用者の増加につなげていきたい。また、障がい学生支援についての申請が増加傾向にあり、学習支援を必要とするケースもあるため、学部内での検討と共に、全学的な体制の強化も、引き続き、検討が必要である。

修学指導について、「落ちこぼれを未然に防ぐ」という一定の役割は果たしていると考えられるが、これまで実施してきた修学指導方法や効果について、検証を行い、検討していく必要がある。

入学前教育課題の実施について、採点結果が低い学生に対してのフォローアップ等、有効な指導等について検討していく必要がある。

課題や問題点は各委員会を中心に検討を行い、学生にとってより良い支援ができるよう、継続的に改善を図っていく。

## 和泉学習支援コーナー

### 【学習支援内容】

- ・履修相談
- ・各学部設置科目の指導
- ・語学学習、各種検定試験指導
- ・レポート作成指導
- ・プレゼンの構成、発表についての指導
- ・ゼミ試験 ES の添削
- ・留学相談
- ・大学院進学相談

### 【その他活動内容】

2022年度は、第一校舎1階から和泉ラーニングスクエア3階に移転し、GB（グループボックス）の活用など、新しい形の学習支援を提供した。

和泉図書館1階サーチアシストにおいて、レポートやプレゼン作成指導、文献の検索及び引用についての指導等を実施した。また、ドイツ語、フランス語、中国語の各検定申込書を各検定協会から取り寄せ、掲示と配付を行った。

事務補助として、「杉並区シルバー人材センター」のスタッフが受付で勤務しており、学習支援室の温かい雰囲気創りに大きく貢献している。

### 【利用状況および今後の課題】

2022年度は、和泉ラーニングスクエアへの移転や、法学部学習サポートの誘致を行い、大幅な利用者数増を達成した。

2012年度から和泉図書館と連携し、図書館1階のサーチアシストに相談員を派遣している。図書館で自習をする学生の獲得という観点から、一定の効果が上がっているが、こちらの利用者数は依然として減少傾向が続いている。関連部署と連携し、周知活動の強化に取り組んでいきたい。

## 【統計】

和泉学習支援室利用者数（月別）

※（ ）は「図書館ナビ・ステーション」でのレポート指導数（外数）

年度 \ 月	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	合計
2022	37 (0)	38 (0)	103 (6)	172 (2)	8 (0)	34 (0)	37 (0)	33 (6)	57 (0)	519 (14)
2021	37 (0)	10 (0)	34 (6)	20 (5)	10 (0)	13 (0)	20 (4)	6 (1)	12 (3)	162 (19)
2020	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
2019	23 (0)	64 (6)	70 (11)	92 (16)	9 (0)	53 (6)	31 (8)	50 (10)	17 (1)	409 (58)
2018	15 (0)	45 (6)	68 (23)	84 (21)	4 (0)	32 (4)	29 (6)	36 (3)	51 (9)	364 (72)
2017	23 (0)	38 (0)	58 (11)	93 (12)	12 (0)	48 (2)	40 (6)	43 (5)	26 (4)	381 (40)
2016	39 (0)	38 (0)	68 (10)	63 (19)	18 (0)	20 (0)	56 (1)	46 (7)	10 (6)	358 (43)
2015	38 (0)	58 (7)	71 (28)	84 (30)	0 (0)	50 (4)	53 (11)	32 (10)	16 (6)	402 (96)
2014	44 (0)	34 (4)	62 (14)	99 (30)	6 (0)	26 (5)	29 (13)	43 (13)	37 (4)	380 (83)
2013	44 (8)	60 (8)	73 (14)	74 (17)	6 (1)	39 (3)	53 (9)	34 (9)	25 (3)	408 (72)

## 中野学習支援コーナー

中野キャンパスでは、国際日本学部および総合数理学部の学習支援方針に基づき、次のとおり学習支援を実施した。

### 【学習支援内容】

学習支援コーナーでは、国際日本学部 TA 及び総合数理学部 TA（以下「学部 TA」とする）による学習相談・支援、教務部 TA による語学学習支援を行った。

（資料編「2022 年度学習支援コーナー時間割」参照）

学部・研究科	学習相談・支援内容
国際日本	レポート・論文添削、留学生向け日本語
国際日本学研究科	院生向け論文添削
総合数理	数学、物理、情報科目
共通	英会話、外国語学習法、日本語

### 【利用状況の変化】

2015 年度から 2022 年度にかけての相談対応件数の推移は、下表のとおりである。

年度	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
学部 TA 学習相談対応件数	199	119	232	142	300	130	128	83
教務部 TA 学習相談対応件数	182	124	89	34	100	4	5	81

2022 年度は、中野キャンパス独自の取り組みである Conversation Practice Matching (CPM) \*1 の対面对応を再開したため、教務部 TA 学習相談対応件数の増加がみられた。

2023 年度からは、対面利用が全面的に再開され、新型コロナウイルス感染症対策で減らしていたラーニング・라운ジの座席数を戻した。そのため、在学生への学習支援制度の周知を進めていきたい。

\*1 英語等を話したい日本人学生と日本語を話したい留学生をマッチングし、グループを作る取り組み。

## スポーツ特別入試入学者対象語学科目

体育会所属学生の中でも基礎学力不足が認められるスポーツ特別入試入学者に対し、設置学部間であれば所属学部・キャンパスを超えて語学の授業を履修できる環境を整えるため、2006年4月からスポーツ特別入試入学者対象語学が設置された。当初、参加学部は5学部であったが、現在は9学部となっている。

今後も、横断授業のあり方を踏まえて、適正な科目及びコマ数を設置し、学生にとってより良い支援体制にしていく。

### 2022年度スポーツ特別入試入学者対象語学科目一覧

語種	開講 キャンパス	設置学部	科目及び対象学年	開講期		曜日	時限	専任・兼任	担当者	定員
				春	秋					
英語	和泉	法	英語(1年)	春	秋	金	5	兼任	安田 努	40
	和泉	文		春	秋	火	3	兼任	関 修	40
	和泉	文		春	秋	木	1	兼任	西浦 徹	40
	生田	理工		春	秋	火	3	専任	倉石 信乃	なし
	和泉	経営		春	秋	水	2	兼任	奥井 裕	30
	和泉	情コミ		春	秋	火	2	兼任	高坂 映子	30
	和泉	商	英語(1・2年)	春	秋	水	1	兼任	田中 茂彦	40
	和泉	商		春	秋	金	4	専任	瀧口 美香	40
	和泉	政経		春	秋	水	2	兼任	井上 和哉	40
	和泉	政経		春	秋	金	2	兼任	若月 麻美	40
	和泉	政経		春	秋	金	4	兼任	高取 康之	40
	和泉	政経		春	秋	金	5	兼任	井上 和哉	40
	中野	国日		春	秋	木	2	兼任	依田 里花	25
	中野	国日		春	秋	金	2	兼任	津田 ひろみ	25
	和泉	法	英語(2年)	春	秋	水	4	兼任	関 修	40
	和泉	文		春	秋	火	2	兼任	秋山 義典	40
	和泉	文		春	秋	木	2	兼任	西浦 徹	40
	生田	理工		春	秋	木	3	専任	倉石 信乃	なし
和泉	経営	春		秋	金	2	兼任	松野 亜希子	35	
ドイツ語	和泉	政経	ドイツ語(1年)	春	秋	火	2	兼任	石原 竹彦	40
	和泉	文		春	秋	月	2	兼任	金子 祥之	40
	生田	理工		春	秋	金	3	専任	金子 祥之	なし
	和泉	経営		春	秋	金	1	兼任	松島 涉	40
	和泉	法	ドイツ語(2年)	春	秋	月	5	兼任	渡部 敏一	40
	和泉	商		春	秋	火	4	兼任	小川 泰生	40
	生田	理工		春	秋	木	2	専任	水野 真紀子	なし
	和泉	経営		春	秋	金	2	兼任	松島 涉	40

語種	開講 キャンパス	設置学部	科目及び対象学年	開講期		曜日	時限	専任・兼任	担当者	定員
				春	秋					
フランス語	生田	理工	フランス語(1年)	春	秋	月	3	兼任	小谷 奈津子	なし
	和泉	経営		春	秋	火	3	兼任	中村 美緒	40
	和泉	文	フランス語(2年)	春	秋	金	3	兼任	西村 美穂	40
	生田	理工		春	秋	月	3	兼任	西村 美穂	なし
中国語	和泉	法	中国語(1年)	春	秋	火	1	兼任	魯 大鳴	40
	和泉	法		春	秋	火	5	兼任	呉 敏	40
	和泉	商		春	秋	火	4	兼任	羅 奇祥	40
	和泉	商		春	秋	木	3	兼任	王 学群	40
	和泉	政経		春	秋	火	1	兼任	石井 理	40
	生田	農		春	秋	金	3	兼任	陳 英招	なし
	和泉	経営		春	秋	月	4	兼任	渡辺 済民	40
	和泉	法	中国語(2年)	春	秋	月	4	兼任	石田 友美	40
	和泉	法		春	秋	木	5	兼任	波多野 眞矢	40
	和泉	商		春	秋	月	1	兼任	本田 親史	40
	和泉	商		春	秋	木	1	兼任	井口 博文	40
	和泉	政経		春	秋	火	2	兼任	石井 理	40
	生田	理工		春	秋	金	2	専任	清水 則夫	なし
	和泉	経営		春	秋	月	5	兼任	渡辺 済民	40



明治大学  
MEIJI UNIVERSITY

# 資料編



## 明治大学学習支援推進委員会設置要綱

2005年7月19日制定

2005年度例規第7号

(目的及び設置)

**第1条** 明治大学(以下「本大学」という。)の各学部における教育理念の実現と教育目標の達成のため、本大学の学生に対し、個々人に合わせた多様な学習支援を実施し、これを全学的に推進することを目的として、教務部委員会の下に、明治大学学習支援推進委員会(以下「委員会」という。)を設置する。

(任務)

**第2条** 委員会は、前条の目的を達成するため、次に掲げる事項の推進を図ることを任務とする。

- (1) 学生の学習意欲を喚起させる啓発活動に関する事項
- (2) 各学部が実施する基本科目の学習指導に関する事項
- (3) 学生の基礎学力を向上させるための補習授業に関する事項
- (4) スポーツ技能重視入学者等に対する基礎科目の全学的授業の実施に関する事項
- (5) 学業優秀者の学習意欲を更に向上させるための学習指導に関する事項
- (6) 学習支援室の運営に関する事項
- (7) その他委員会が必要と認めた事項

(組織)

**第3条** 委員会は、次に掲げる委員をもって組織する。

- (1) 教務部長
- (2) 副教務部長
- (3) 各学部長が推薦する教務主任各1名
- (4) 大学院長が推薦する大学院教務主任1名
- (5) 専門職大学院長が推薦する専門職大学院教務主任1名
- (6) 教務事務部教務事務長及び和泉教務事務長、学生支援部スポーツ振興事務長並びに中野キャンパス事務部中野教務事務長

(任期)

**第4条** 委員の任期は、職務上委員となる者を除き、2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 前条第3号から第5号までの委員は、再任されることができる。

(委員長及び副委員長)

**第5条** 委員会に、委員長及び副委員長各1名を置く。

- 2 委員長は、第3条第1号の委員をもってこれに充てる。
- 3 副委員長は、委員のうちから、委員会の同意を得て、委員長が指名する。
- 4 委員長は、会務を総理する。
- 5 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるときは、その職務を代行する。

(会議)

**第6条** 委員会は、委員長が招集する。

- 2 委員会は、委員の過半数が出席しなければ、会議を開くことができない。
- 3 委員会の議事は、出席委員の過半数でこれを決し、可否同数のときは、委員長の決するところ

による。

- 4 委員会が必要と認めたときは、委員以外の者を会議に出席させることができる。

(分科会)

**第7条** 委員会は、必要に応じて分科会を置くことができる。

- 2 分科会委員は、委員会委員のうちから、委員長が指名する。
- 3 前項のほか、委員長は、必要に応じて教職員のうちから、分科会委員を委嘱することができる。
- 4 分科会には、座長を置き、委員会委員のうちから、委員長が指名する。
- 5 分科会に関し必要な事項は、委員長が委員会の同意を得て、これを定める。

(事務)

**第8条** 委員会の事務は、教務事務部教務事務室が行い、必要に応じて関係部署がこれに協力するものとする。

(雑則)

**第9条** この要綱に定めのない事項は、委員長が委員会の同意を得て、これを定めることができる。

**附 則** (2005年度例規第7号)

(施行期日)

- 1 この要綱は、2005年(平成17年)7月20日から施行する。

(委員の任期の特例)

- 2 この要綱の施行後、最初に任命される第3条第2号から第5号までの委員の任期は、第4条第1項本文の規定にかかわらず、2006年(平成18年)3月31日までとする。

(通達第1391号)

**附 則** (2007年度例規第27号)

この要綱は、2007年(平成19年)12月19日から施行する。

(通達第1626号)(注 事務機構改革の実施による委員の事務管理職名及び事務部署名の変更に伴う改正)

**附 則** (2007年度例規第33号)

この要綱は、2008年(平成20年)4月1日から施行する。

(通達第1640号)(注 国際日本学部の設置による委員構成の変更に伴う改正)

**附 則** (2008年度例規第8号)

この要綱は、2008年(平成20年)6月4日から施行し、改正後の規定は、同年4月1日から適用する。

(通達第1697号)(注 二部教務部長の廃止による委員構成等の変更に伴う改正)

**附 則** (2008年度例規第24号)

この要綱は、2008年(平成20年)12月3日から施行し、改正後の規定は、同年9月16日から適用する。

(通達第1756号)(注 事務機構第一次見直しによる部署名称等の変更に伴う改正)

**附 則** (2009年度例規第9号)

この要綱は、2009年(平成21年)6月10日から施行し、改正後の規定は、同年4月22日から適用する。

(通達第1808号)(注 事務機構第二次見直しによる部署名称等の変更に伴う改正)

**附 則** (2009年度例規第21号)

この要綱は、2009年(平成21年)10月21日から施行し、改正後の規定は、同年10月

1日から適用する。

(通達第1837号) (注 国際連携機構の設置及び国際交流センターの廃止に伴う改正)

**附 則** (2009年度例規第27号)

この要綱は、2009年(平成21年)12月2日から施行する。

(通達第1846号) (注 副教務部長が1名から2名に増えたことに伴う改正)

**附 則** (2012年度例規第20号)

この要綱は、2013年(平成25年)4月1日から施行する。

(通達第2142号) (注 中野キャンパスに係る部署の新設による委員の追加に伴う改正)

**附 則** (2012年度例規第24号)

この要綱は、2013年(平成25年)3月13日から施行する。

(通達第2164号) (注 国際教育センター委員会の廃止に伴う改正)

**附 則** (2018年度例規第5号)

(施行期日)

1 この要綱は、2018年(平成30年)7月4日から施行する。

(委員の任期の特例)

2 改正後の第3条第4号及び第5号の規定による委員の任期は、第4条第1項本文の規定にかかわらず、2020年(平成32年)3月31日までとする。

(通達第2570号) (注 委員会の構成員の変更に伴う改正)

## 学習支援推進委員会名簿

	所属	氏名	役職等
委員長	商学部	千田 亮吉	教務部長
副委員長	政治経済学部	加藤 久和	副教務部長
委員	法学部	神田 正行	教務主任
	商学部	中島 涉	教務主任
	政治経済学部	内田 兆史	教務主任
	文学部	井上 優	教務主任
	理工学部	小山 明男	教務主任
	農学部	織田 哲司	教務主任
	経営学部	三上 真寛	教務主任
	情報コミュニケーション学部	竹中 克久	教務主任
	国際日本学部	鵜戸 聡	教務主任
	総合数理学部	中村 和幸	教務主任
	大学院	西川 伸一	大学院長推薦
	専門職大学院	藤岡 資正	専門職大学院長推薦
	教務事務室	永井 順子	事務長
	和泉教務事務室	田島 克美	事務長
スポーツ振興事務室	渡 佳和	事務長	
中野教務事務室	竹内 亮	事務長	

任期 2020/4/1～2022/3/31

# 和泉学習支援室 時間割

【2022年度春学期】

**学習面でこまっていますか？**

授業でわからないことがあった

レポートの書き方がわからない

留学経験者の話を聞きたい！

将来、大学院に進学したいので先輩に相談したい！

どうやって文献を調べればいいの？

こんなときは学習支援コーナーへ！

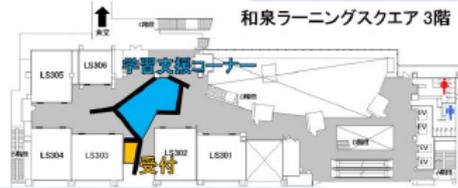
## 学習支援コーナーとは？

皆さんの大学生活を学習面においていろいろな形でサポートする場です。所属学部に関わらず利用することができます。ぜひ活用してください。

## 場所

和泉ラーニングスクエア  
3階 学習支援コーナー

和泉ラーニングスクエア 3階



## 誰が相談にのってくれるの？

- 大学院生の助手またはTA (Teaching Assistant) が対応します。
- 予約不要です。直接来室してください。
- 助手・TAの支援担当科目・在室時間が決まっていますので、下記時間割表を参照してください。



## 2022年度春学期 支援時間割

開 室：月～金 10：00～17：00 ※ 原則、大学の授業実施日に開室

2022/7/11現在

	英語	中国語	ドイツ語	フランス語	日本語(留学生向け)	レポート作成指導	留学相談
全学部共通内容	月	10:00~16:00	10:00~17:00	-	-	10:00~17:00	10:00~17:00 中国:10:00~16:00
	火	10:00~17:00	10:00~17:00	13:00~17:00	-	10:00~17:00	10:00~17:00 中国:10:00~16:00
	水	10:00~17:00	10:00~12:00 13:00~16:00	10:00~17:00	11:00~17:00	10:00~13:00 15:00~17:00	10:00~17:00 -
	木	10:00~17:00	10:00~17:00	11:00~17:00	10:00~17:00	10:00~17:00	10:00~17:00 中国:11:00~17:00 韓国:10:00~12:30
	金	10:30~17:00	10:00~17:00	-	13:30~17:00	10:00~17:00	10:00~17:00 中国:10:00~12:00 韓国:13:30~17:00

※学習支援とは、学習活動のサポートであり、解答を教えるものではありません。聞きたいことを整理したうえで来室してください。

※留学相談については、国際教育センターで実施している学生留学アドバイザー制度のご利用もご検討ください。

[https://www.meiji.ac.jp/cip/preparation/eng\\_programmes/gakusei\\_advisor.html](https://www.meiji.ac.jp/cip/preparation/eng_programmes/gakusei_advisor.html)

裏面あり

## 学部別専門科目

(該当の学部以外の学生でも支援を受けられます。)

教養デザイン研究科	曜日	時間
文献検索	月	10:00~17:00
	火	10:00~17:00
	木	10:00~17:00
	金	10:00~13:00

文学部	曜日	時間
ロシア語	火	10:00~16:00
日本近現代史	水	10:00~16:00
演劇学	月	10:00~16:00

法学部	曜日	時間
<a href="#">法学部学習支援専用サイトURL</a>		

商学部	曜日	時間
経済学	月	13:00~16:00
財政学	月	13:00~16:00
ツーリズムマーケティング	水	13:00~16:00
マーケティング	火	13:00~16:00
	木	13:00~16:00
商品学	火	13:00~16:00
ミクロ経済学	金	10:00~12:00
マクロ経済学	金	10:00~12:00
経営学総論	金	14:00~17:00
貿易総論	水	10:00~13:00
政治経済学	水	10:00~13:00

経営学部	曜日	時間
経営学	月	10:30~15:00
		15:20~17:00
	火	10:30~12:30
	水	10:00~12:30
		13:00~17:00
木	10:30~12:30	
	13:00~17:00	
金	10:30~15:00	
	15:20~17:00	
	10:30~15:00	
公共経営学	月	13:00~15:00
	火	13:00~17:00
	金	10:30~12:30
経営総論	月	12:40~13:00
		15:20~17:00
	火	13:00~17:00
	木	13:00~17:00
		12:40~15:00
金	15:20~17:00	
簿記論	月	10:30~12:30
	火	10:30~12:30
	水	10:00~12:00
		13:00~15:00
木	10:30~12:30	
	水	10:30~12:30
会計学	水	15:00~17:00

政治経済学部	曜日	時間
政治学基礎	火	10:00~12:00
	木	10:00~12:30
		13:00~17:00
金	11:00~13:00	
	13:30~17:00	
	11:00~13:00	
政治学原論	火	10:00~12:00
	木	13:00~17:00
	金	11:00~13:00
政治理論基礎	火	10:00~12:00
	木	10:00~12:30
		13:00~17:00
金	11:00~13:00	
	13:30~17:00	
	11:00~13:00	
行政学基礎	火	10:00~12:00
	木	13:00~17:00
	金	11:00~13:00
行政理論基礎	火	10:00~12:00
	木	13:00~17:00
	金	11:00~13:00
ミクロ経済学	木	10:00~12:30
	金	13:30~17:00
マクロ経済学	木	10:00~12:30
	金	13:30~17:00
経済史	木	10:00~12:30
	金	13:30~17:00
憲法	木	10:00~12:30
		13:00~17:00
	金	11:00~13:00
		13:30~17:00

情コミ学部	曜日	時間
メディア論	水	10:50~15:10
哲学	水	10:50~15:10

教務部	曜日	時間
Microsoftoffice	月	10:00~16:00
	火	10:00~16:00
Adobe	月	10:00~16:00
	火	10:00~16:00
政治学	火	13:00~17:00
行政学	火	13:00~17:00
日本近代文学	水	10:00~12:00
	金	10:00~14:00
日本思想史	水	10:00~12:00
	金	10:00~14:00

**【2022年度秋学期】**

**学習面でこまっていますか？**

授業で  
わからない  
ことがあった

レポートの  
書き方が  
わからない

留学経験者の  
話を聞きたい！

将来、大学院に  
進学したいので  
先輩に  
相談したい！

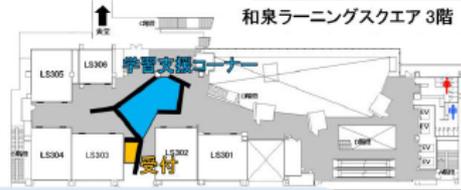
こんなときは学習支援コーナーへ！

**学習支援コーナーとは？**

皆さんの大学生活を学習面においていろいろな形でサポートする場です。所属学部に関わらず利用することができます。ぜひ活用してください。

**場所**

和泉ラーニングスクエア  
3階 学習支援コーナー  
和泉ラーニングスクエア 3階



**誰が相談にのってくれるの？**

- 大学院生の助手またはTA (Teaching Assistant) が対応します。
- 予約不要です。直接来室してください。
- 助手・TAの支援担当科目・在室時間が決まっていますので、下記時間割表を参照してください。



**2022年度秋学期 支援時間割**

開 室：月～金 10：00～17：00 ※原則、大学の授業実施日に開室

2022/10/31更新

	英語	中国語	ドイツ語	フランス語	日本語(留学生向け)	レポート作成指導	留学相談
月	10:00~16:00	10:00~16:00	-	-	10:00~17:00	10:00~17:00	中国 10:00~16:00
火	10:00~17:00	10:00~17:00	11:00~17:00	10:00~17:00	10:00~17:00	10:00~17:00	中国 10:00~16:00 韓国 10:00~14:00 アメリカ 11:00~17:00 ドイツ 11:00~17:00 スペイン 11:00~17:00 オーストラリア 11:00~17:00
水	10:00~17:00	10:00~12:00 13:00~16:00	10:00~17:00	11:00~17:00	10:00~17:00	10:00~17:00	中国 13:30~15:10
木	10:00~17:00	10:00~17:00	11:00~17:00	10:00~12:30	10:00~17:00	10:00~17:00	中国 11:00~17:00 韓国 10:00~12:30
金	13:00~17:00	10:00~16:00	-	13:30~17:00	10:00~17:00	10:00~17:00	韓国 13:30~17:00

※学習支援とは、学習活動のサポートであり、解答を教えるものではありません。聞きたいことを整理したうえで来室してください。

※留学相談については、国際教育センターで実施している学生留学アドバイザー制度のご利用もご検討ください。

[https://www.meiji.ac.jp/cip/preparation/eng\\_programmes/gakusei\\_advisor.html](https://www.meiji.ac.jp/cip/preparation/eng_programmes/gakusei_advisor.html)

裏面あり

## 学部別専門科目

(該当の学部以外の学生でも支援を受けられます。)

教養デザイン研究科	曜日	時間
文献検索	月	10:00~17:00
	火	10:00~17:00
	木	10:00~15:00
	金	10:00~13:00

法学部	曜日	時間
<a href="#">法学部学習支援専用サイトURL</a>		

商学部	曜日	時間
経済学	月	13:00~16:00
財政学	月	13:00~16:00
会計学	火	10:00~12:00
簿記学	火	10:00~12:00
政治経済学	水	10:00~13:00
ツーリズムマーケティング	水	13:00~16:00
マーケティング	火	13:00~16:00
	木	14:00~17:00
貿易総論	木	10:00~13:00
経営学総論	金	14:00~17:00
商品学	火	13:00~16:00

政治経済学部	曜日	時間
ミクロ経済学	火	10:00~14:00
	木	10:00~12:30
	金	13:30~17:00
マクロ経済学	火	10:00~14:00
	木	10:00~12:30
	金	13:30~17:00
政治学基礎	火	10:00~17:00
	水	15:00~17:00
	木	10:00~12:30
	金	13:30~17:00
経済史	火	10:00~14:00
	木	10:00~12:30
	金	13:30~17:00
政治学原論	火	13:00~17:00
	水	15:00~17:00
政治理論基礎	火	13:00~17:00
	水	15:00~17:00
行政学基礎	火	13:00~17:00
	水	15:00~17:00
行政理論基礎	火	13:00~17:00
	水	15:00~17:00
憲法	火	13:00~17:00
	水	15:00~17:00

文学部	曜日	時間
ロシア語	火	10:00~16:00
日本近現代史	水	10:00~16:00

経営学部	曜日	時間
経営学	月	10:00~12:00
		13:00~15:00
	水	10:00~12:30
	木	10:00~12:00
		13:00~15:00
金	13:00~15:00	
公共経営学	月	13:00~15:00
	木	10:00~12:00
	木	13:00~15:00
会計学	月	10:00~12:00
経営総論	水	10:30~12:30
	金	13:00~15:00
簿記論	水	10:00~12:00

情コミ学部	曜日	時間
メディア論	月	13:30~15:10
哲学	月	13:30~15:10
Word	水	13:30~15:10

教務部	曜日	時間
Microsoftoffice	月	10:00~16:00
	火	10:00~16:00
Adobe	月	10:00~16:00
	火	10:00~16:00
政治学	火	10:00~12:00
		13:00~17:00
行政学	火	10:00~12:00
		13:00~17:00
日本近代文学	水	10:00~12:00
	金	10:00~14:00
日本思想史	水	10:00~12:00
	金	10:00~14:00

## 理工学部学習支援室 時間割

【2022年度春学期】

科目		月	火	水	木	金
12:30~13:20(50分)						
1 時 限	専門科目	建築 英語・総合芸術	中国語・総合芸術	電気電子生命	中国語・総合芸術	
	基礎数学	解析		代数 幾何 解析	解析	代数 解析
	基礎物理	基礎物理	基礎物理	基礎物理	基礎物理	基礎物理
	基礎化学	基礎化学	基礎化学			
13:30~14:20(50分)						
2 時 限	専門科目	英語・総合芸術 機械情報	中国語・総合芸術 電気電子生命	機械情報	中国語・総合芸術 電気電子生命	
	基礎数学	解析		代数 幾何 解析	解析	代数 解析
	基礎物理	基礎物理	基礎物理	基礎物理	基礎物理	基礎物理
	基礎化学	基礎化学	基礎化学		基礎化学	
14:30~15:20(50分)						
3 時 限	専門科目	機械工学	機械情報 電気電子生命	機械工学	電気電子生命 機械情報	機械工学
	基礎数学	解析	幾何 代数	代数 解析	解析	代数
	基礎物理	基礎物理	基礎物理	基礎物理	基礎物理	基礎物理
	基礎化学	基礎化学		基礎化学	基礎化学	基礎化学
15:30~16:20(50分)						
4 時 限	専門科目	機械工学 機械情報	機械情報 情報科学 電気電子生命	機械工学	電気電子生命 機械情報	電気電子生命 機械工学
	基礎数学	解析 代数 幾何	幾何 代数	幾何 代数	解析	幾何 代数
	基礎物理	基礎物理	基礎物理学	基礎物理	基礎物理	基礎物理
	基礎化学	基礎化学	基礎化学	基礎化学	基礎化学	基礎化学
16:30~17:20(50分)						
5 時 限	専門科目	情報科学		電気電子生命		電気電子生命
	基礎数学	代数 幾何		幾何 代数		幾何 代数
	基礎物理		基礎物理	基礎物理	基礎物理	
	基礎化学		基礎化学		基礎化学	

**【2022年度秋学期】**

科目		月	火	水	木	金
12:30~13:20(50分)						
1 時 限	専門科目	機械工学 総芸&中国語	機械情報	建築 総芸&英語	機械工学 総芸&中国語	総芸&英語 電気電子生命
	基礎数学	幾何 解析	代数 解析	代数 幾何	解析 幾何	代数
	基礎物理		基礎物理	基礎物理		基礎化学
	基礎化学	基礎化学	基礎化学	基礎化学		
13:30~14:20(50分)						
2 時 限	専門科目	機械工学 総芸&中国語	電気電子生命	総芸&英語	総芸&中国語 電気電子生命 機械工学	総芸&英語 電気電子生命
	基礎数学	解析 代数 幾何	代数 解析	代数 幾何	解析	代数
	基礎物理	基礎物理 理論	基礎物理	基礎物理	基礎物理	基礎化学
	基礎化学	基礎化学	基礎化学	基礎化学		基礎化学
14:30~15:20(50分)						
3 時 限	専門科目	機械情報	電気電子生命	機械情報	機械情報 電気電子生命	電気電子生命
	基礎数学	解析 代数	解析	代数		幾何
	基礎物理	基礎物理 理論	基礎物理 理論	基礎物理	基礎物理	基礎物理 理論
	基礎化学		基礎化学			基礎化学
15:30~16:20(50分)						
4 時 限	専門科目	機械情報 情報科学	電気電子生命		機械情報 機械工学 情報科学 電気電子生命	電気電子生命
	基礎数学	解析 代数	幾何 代数 解析	幾何 代数	解析	解析 幾何
	基礎物理	基礎物理	基礎物理 理論	基礎物理	基礎物理 理論	基礎物理 理論
	基礎化学			基礎化学	基礎化学	基礎化学
16:30~17:20(50分)						
5 時 限	専門科目	情報科学			機械工学	
	基礎数学	解析	幾何 代数	幾何	解析 幾何	解析
	基礎物理	基礎物理		基礎物理	基礎物理 理論	
	基礎化学			基礎化学	基礎化学	関

# 農学部学習支援室 時間割

## 【2022年度春学期】

### 農学部学習支援室の開室について

- 場所: 第一校舎 2号館1階
- 開室時間: 平日(月～金)の8:30～18:00 ※授業実施日のみ(定期試験期間中は開室していません。)
- 利用用途: 自習・学習支援 etc.
- 利用について  
 辞書や参考書、各種文房具を完備しており、開室時間内はいつでも自習室としての利用が可能です。有線・無線LANも使用出来るので個人用PCの使用も可能です。  
 また、下記の時間帯には大学院生のTA(ティーチング・アシスタント)が在室しており、学業に関する相談や質問を自由に行うことが出来ます。「レポートの書き方について教えて欲しい」、「授業が難しく分からない」、「大学院ではどんな研究をしているのか」、「実験の方法について」など何でも気軽に尋ねてください！学科専攻は問わず学習支援をお受けします！  
 ※下記在室時間については今後変更となる可能性がございます。

2022年度 学習支援担当TA在室スケジュール【春学期】

	月曜	火曜	水曜	金曜
1時限				
2時限	生命科学科 【10:00～12:30】 春学期			
昼休み		農学科 【12:00～15:00】 春学期	生命科学科 【12:00～14:30】 春学期	
3時限			食料環境政策学科 【12:30～14:30】 春学期	
4時限			農芸化学科 【13:00～17:00】 春学期	農学科 【13:00～16:00】 春学期
				農芸化学科 【12:30～16:30】 春学期

## 【2022年度秋学期】

2022年度 学習支援担当TA在室スケジュール【秋学期】

	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜
1時限					
2時限					
昼休み	生命科学科 【12:00～15:00】	農学科 【12:00～15:00】	生命科学科 【12:00～15:00】	食料環境政策学科 【12:00～14:00】	
3時限			農芸化学科 【12:30～16:30】		農学科 【13:00～16:00】
4時限					農芸化学科 【12:30～17:00】

## 中野学習支援コーナー 時間割

【2022年度春学期】

2022年4月1日 ~ 2022年7月29日

学部生を対象に、大学院生T Aによる学習相談・サポートを下記のとおり実施しています。  
学習に関して相談したい方、学習を効果的に進めたい方は、積極的に活用してください。  
・事前の申込みは不要です。以下のスケジュールを確認し、TAに直接お声がけください。  
・所属学部に関わらず利用することができます。



支援内容	曜日	時間	場所
留学生向け日本語	火	10:50 - 12:30	高層棟1F ラーニング・ラウンジ内 学習支援コーナー
		10:50 - 12:30	
		10:50 - 12:30	
		15:20 - 17:00	
		17:10 - 18:00	
	水	9:00 - 10:40	
		9:00 - 10:40	
	金	13:30 - 15:10	
		13:30 - 15:10	
		15:20 - 17:00	
レポート・論文指導	月	13:30 - 15:10	
	火	10:50 - 12:30	
		10:50 - 12:30	
		15:20 - 17:00	
		17:10 - 18:00	
	水	9:00 - 10:40	
		17:10 - 18:00	
	金	9:00 - 10:40	
		13:30 - 15:10	
		13:30 - 15:10	
13:30 - 15:10			
15:20 - 17:00			
中国語の学習	火	10:50 - 12:30	
		10:50 - 12:30	
		15:20 - 17:00	
		17:10 - 18:00	
海外留学関連	金	13:30 - 15:10	
留学生生活関連	火	10:50 - 12:30	
数学	火	13:30 - 15:30	
	水	13:00 - 15:00	
	木	12:00 - 14:00	
	金	13:00 - 15:00	
物理	木	13:00 - 15:00	
		13:00 - 15:00	
情報	火	14:00 - 16:00	
	水	13:00 - 15:00	
	金	10:00 - 12:00	
院生向け日本語論文添削	月	13:00 - 16:00	
	火	13:00 - 16:00	
	水	13:00 - 16:00	
	金	9:00 - 12:00	
外国人留學生院生向け日本語論文添削	水	10:00 - 15:00	
英会話 外国語学習法 日本語	月	13:00 - 15:00	
	火	13:00 - 15:00	
	水	11:00 - 13:00	
	木	13:00 - 15:00	
	金	11:00 - 13:00	

**【2022年度秋学期】**

**2022年9月20日 ~ 2023年2月3日**



学部生を対象に、大学院生TAによる学習相談・サポートを下記のとおり実施しています。  
 学習に関して相談したい方、学習を効果的に進めたい方は、積極的に活用してください。  
 ・事前の申込みは不要です。以下のスケジュールを確認し、TAに直接お声がけください。  
 ・所属学部に関わらず利用することができます。

支援内容	曜日	時間	場所	
留学生向け日本語	月	10:50 - 12:30	高層棟1F ラーニング・ラウンジ内 学習支援コーナー	
		13:30 - 15:10		
	火	10:50 - 12:30		
		13:30 - 15:10		
		15:20 - 17:00		
		17:10 - 18:00		
	水	9:00 - 10:40 ※11/16~		
		10:50 - 12:30 ※11/16~		
	木	13:30 - 15:10		
	金	9:00 - 10:40		
		10:50 - 12:30		
	レポート・論文指導	月		10:50 - 12:30
				13:30 - 15:10
				13:30 - 15:10
火		10:50 - 12:30		
		13:30 - 15:10		
		15:20 - 17:00		
水		9:00 - 10:40 ※11/16~		
		10:50 - 12:30 ※11/16~		
木		13:30 - 15:10		
	15:20 - 17:00			
	9:00 - 10:40			
	10:50 - 12:30			
金	13:30 - 15:10			
	15:20 - 17:00			
	15:20 - 17:00			
中国語の学習	月	10:50 - 12:30		
		13:30 - 15:10		
	火	15:20 - 17:00		
		17:10 - 18:00		
木	13:30 - 15:10			
	13:30 - 15:10			
留学生生活関連	月	10:50 - 12:30		
	木	13:30 - 15:10		
海外留学関連	木	15:20 - 17:00		
数学	月	12:30 - 14:30		
	水	12:30 - 14:30		
	水	14:30 - 16:30		
物理	金	12:30 - 14:30		
	火	12:30 - 14:30		
情報	水	12:30 - 14:30		
	木	12:30 - 14:30		
	金	12:30 - 14:30		
	火	12:30 - 14:30		
院生向け日本語論文添削	月	13:00 - 16:00		
	火	13:00 - 16:00		
	水	13:00 - 16:00		
	金	9:00 - 12:00		
外国人留学生院生向け日本語論文添削	水	10:00 - 15:00		
英会話 外国語学習法 日本語	月	13:00 - 15:00		
	火	13:00 - 15:00		
	水	11:00 - 13:00		
	木	13:00 - 15:00		
	金	11:00 - 13:00		

## 和泉学習支援室 利用状況

【1】月別利用者数

年度	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	合計
2022	37 (0)	38 (0)	103 (6)	172 (2)	8 (0)	34 (0)	37 (0)	33 (6)	57 (0)	519 (14)
2021	37 (0)	10 (0)	34 (6)	20 (5)	10 (0)	13 (0)	20 (4)	6 (1)	12 (3)	182 (19)
2019	23 (0)	64 (6)	70 (11)	92 (16)	9 (0)	53 (6)	31 (8)	50 (10)	17 (1)	409 (58)
2018	15 (0)	45 (6)	68 (23)	84 (21)	4 (0)	32 (4)	29 (6)	36 (3)	51 (9)	364 (72)
2017	23 (0)	38 (0)	58 (11)	93 (12)	12 (0)	48 (2)	40 (6)	43 (5)	26 (4)	381 (40)
2016	39 (0)	38 (0)	68 (10)	63 (19)	18 (0)	20 (0)	56 (1)	46 (7)	10 (6)	358 (43)
2015	38 (0)	58 (7)	71 (28)	84 (30)	0 (0)	50 (4)	53 (11)	32 (10)	16 (6)	402 (96)
2014	44 (0)	34 (4)	62 (14)	99 (30)	6 (0)	26 (5)	29 (13)	43 (13)	37 (4)	380 (83)
2013	44 (8)	60 (8)	73 (14)	74 (17)	6 (1)	39 (3)	53 (9)	34 (9)	25 (3)	408 (72)
2012	27	95	147 (7)	205 (23)	16 (0)	69 (9)	84 (14)	83 (14)	88 (11)	814 (78)

【2】各学部別利用者数

学部名	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	合計
法学部	14	22	83 (3)	156 (2)	4	24	16	14	48	381 (5)
商学部	2	0	0	2	0	0	2	1	1	8 (0)
政治経済学部	6	2	6	8	2	3	9	5 (4)	3	44 (4)
文学部	2	6	5 (1)	1	1	2	4	4	3	28 (1)
経営学部	2	2	3	4	1	0	5	0	0	17 (0)
情報コミュニケーション学部	2	2	2	0	0	1	0	0	1	8 (0)
院生	7	2	1 (1)	1	0	4	0	7	1	23 (1)
その他	2	2	3 (1)	0	0	0	1	2 (2)	0	10 (3)
計	37 (0)	38 (0)	103 (6)	172 (2)	8 (0)	34 (0)	37 (0)	33 (6)	57 (0)	519 (14)

【3】学年別利用者数

学年	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	合計
1年	24	27	65 (6)	114 (2)	2	9	10	13 (4)	26	290 (12)
2年	4	3	32	56	6	20	21	6 (2)	17	165 (2)
3年	0	1	3	1	0	0	1	0	2	8 (0)
4年	0	2	0	0	0	2	3	3	7	17 (0)
院生	7	3	0	0	0	3	0	10	4	27 (0)
その他	2	2	3	1	0	0	2	1	1	12 (0)
計	37 (0)	38 (0)	103 (6)	172 (2)	8 (0)	34 (0)	37 (0)	33 (6)	57 (0)	519 (14)

※2月、3月、夏季休暇中は閉室

## 理工学部学習支援室 利用状況

### 【1】月別利用者数

年度	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	計
2022年度	112	158	180	228	49	116	111	115	125	1194
2021年度	123	89	113	149	18	107	123	96	124	942
2020年度	0	20	40	67	14	57	55	35	97	385
2019年度	78	145	123	351	14	75	73	37	156	1052
2018年度	106	112	99	201	17	63	59	23	135	815
2017年度	74	92	137	278	27	62	74	40	162	946
2016年度	125	199	232	364	35	134	137	105	169	1500
2015年度	115	146	190	374	16	145	163	113	247	1509
2014年度	110	196	156	369	31	159	136	141	193	1491
2013年度	105	199	169	273	34	92	107	82	162	1223
2012年度	104	218	163	240	29	98	94	49	140	1135

### 【2】学科別利用者数

	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	計
電生	11	23	21	38	19	7	14	20	19	172
機械	27	35	41	21	6	10	9	1	0	150
機情	26	43	57	99	1	30	37	30	31	354
建築	1	0	0	0	0	1	0	0	0	2
応化	10	8	10	22	6	7	3	3	6	75
情報	6	0	0	2	0	5	5	2	8	28
数学	12	11	10	21	3	29	24	26	33	169
物理	19	38	41	25	14	27	19	33	28	244
不明・その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	112	158	180	228	49	116	111	115	125	1194

### 【3】学年別利用者数

	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	計
1年	56	71	67	85	10	27	39	31	42	428
2年	38	56	94	115	32	63	56	62	63	579
3年	9	21	11	21	5	9	5	11	15	107
4年	9	10	8	6	2	17	11	11	5	79
不明・その他	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
計	112	158	180	228	49	116	111	115	125	1194

2月、3月、夏季休暇中は閉室

## 農学部学習支援室 利用状況

### 【1】月別利用者数

年度	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	計
2022年度	23	13	18	34	6	15	16	7	14	146
2021年度	12	3	13	16	5	22	37	25	13	146
2020年度	0	3	20	13	1	0	0	0	3	40
2019年度	25	58	54	110	10	40	60	75	120	552
2018年度	28	39	43	123	9	65	65	43	146	561
2017年度	55	58	80	141	15	85	78	87	94	693
2016年度	65	78	103	172	25	80	86	63	90	762
2015年度	57	60	138	243	15	96	78	71	119	877

### 【2】学科別利用者数

	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	計
農学科	2	3	2	5	0	2	6	1	3	24
農芸化学科	18	5	12	17	1	4	2	2	1	62
生命科学科	2	4	1	7	4	8	7	4	9	46
食料環境政策学科	1	1	3	5	1	1	1	0	1	14
不明・その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	23	13	18	34	6	15	16	7	14	146

### 【3】学年別利用者数

	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	計
1年	4	6	4	18	1	1	3	1	3	41
2年	6	1	7	7	1	2	3	4	3	34
3年	4	1	4	5	4	9	4	0	8	39
4年	9	5	3	4	0	3	4	2	0	30
不明・その他	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2
計	23	13	18	34	6	15	16	7	14	146

※2月、3月、夏季休暇中は閉室

## 中野学習支援コーナー 利用状況

### 【1】月別利用者数

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	合計
2022年度	15	19	25	21		5	29	27	9	14	164
2021年度	14	16	27	18	0	6	11	16	9	15	132
2020年度	0	2	11	38	1	0	29	16	19	18	134
2019年度	8	97	49	68		10	41	61	29	37	400
2018年度	8	33	39	33		1	17	25	9	11	176
2017年度	28	69	68	50		13	25	23	22	23	321
2016年度	11	19	19	34		3	19	59	55	24	243
2015年度	54	58	42	94		11	36	73	33	35	436
2014年度	71	66	77	128		24	45	60	65	87	623
2013年度	54	68	66	81		17	40	58	35	65	484

### 【2】学部別利用者数

学部名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	計
国際日本学部	9	14	21	11		2	22	14	4	3	100
総合数理学部	6	1	1	10		3	6	12	5	11	55
院生・その他	0	4	3	0		0	1	1	0	0	9
計	15	19	25	21	0	5	29	27	9	14	164

### 【3】学年別利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	合計
1年	2	8	8	4		2	13	11	0	9	57
2年	4	4	9	12		2	5	9	4	1	50
3年	1	1	5	0		0	3	2	3	2	17
4年	8	1	1	5		1	6	3	2	2	29
院生	0	4	2	0		0	1	1	0	0	8
その他	0	1	0	0		0	1	1	0	0	3
計	15	19	25	21	0	5	29	27	9	14	164

※2月、3月、夏季休暇中は閉室

## 2022年度学習支援報告書

編集・発行 学習支援推進委員会

発行日 2023年7月